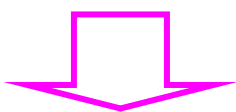


相馬病院看護部目標紹介

★★平成28年度看護部目標★★

1. かかりつけ病院として地域の皆様の期待に応える看護部
2. 部署目標・個人目標を実現させ、仕事・労働環境・働き甲斐の満足度を上げる。患者様・ご家族様・職員が満足できる病院
3. 部署環境を見直しして、患者様・職員に優しい病院環境・職場環境を目指す



今年度の目標は、昨年度に引き続いた目標にしています。根本的には毎年目指すものは同じで、表現で多少の違いがあります。職員に対して職場環境改善を追加した事が少しの違いになっています。

安全で信頼される看護部。これは患者様・ご家族様・職員についても同じです。

これからの医療界は2025年問題に向かって、目まぐるしく変化していきます。ますます地域の皆様に頼っていただけるように、変化する情勢に対して柔軟に対応していくことが肝心です。

昨年度末、コンサルタントの協力を得て、職員アンケートを実施・分析されました。

『組織活性度 = 職員意欲 × 職員満足』 として定義し、当院職員の活性度は大変高いものという結果でした。

そして、看護協会のWLB（ワークライフバランス）推進事業も今年度で3年目、最終の年になります。患者様にも同業者にも選ばれる病院を目指し、少しずつでも職場環境もよくなっていると感じていますので、看護協会での事業が終了しても継続していく所存です。

安全で安心な病院・職場をめざし、些事徹底をキーワードにして、今年度もリーダーシップを発揮していこうと考えています。

★★外来・手術室目標★★

『外来・手術室・訪問診療のチームの強化と連携』

外来は、昨年度からの継続で『外来から始まる退院支援』を継続し、認定看護師・訪問看護師・多職種とも連携して、相談、支援、援助、説明、指導を中心に個別性のある看護の提供を心掛けたいと思います。脊椎手術後の患者様が自宅生活を安心して暮らしていただける生活指導も継続していきます。かかりつけ病院としては、常にかかりつけ患者様の受け入れできる環境を整え、退院後の支援を含めて在宅調整しています。

手術室は、『安全第1』をモットーに環境の見直しを計画しています。長時間に及ぶ手術も多く職員の健康管理や業務の効率化など取り組みます。安全面では、日々、安全確認作業の徹底を怠ることのない姿勢、安全意識を持ち続けることを継続し、患者様・職員の安全に繋がります。また、手術を受けられる患者様や家族様が安心・信頼して手術を受けられる看護の提供を目標に指導・教育を強化しています。

訪問診療は、年々利用していただく患者様が増えています。現状の見直しと改善をしてさらに一人でも多くの訪問患者様を受け入れできる体制にしたいと考えています。訪問診療が必要な患者様・ご家族様の期待に十分に答えられる訪問診療にしたいと思います。

今年度、外来・手術室・訪問診療の情報共有と連携で、チーム・ワークの強化を図り、各チームの特徴・専門性をとらえた看護についてチームで考える機会を多く持ちたいと考えています。チームリーダー会を重視して個々のチームの問題や取り組みを共有することでリーダーとしてのスキルアップ、チームメンバーへの指導、協力体制などレベルアップを目標にしています。人材育成・後継者育成を視野に入れた体制で、今年も良質な看護の提供をさせていただきます

★★病棟目標★★

『入院時から退院後も安心していただける 良質な看護の提供』

★2階病棟★

1. 在宅支援に対する目標も今年で4年目を迎えます “石の上にも三年” 少しずつスタッフの意識も変わり、入院初期より在宅に目を向けた関わりが出来るようになってきたと手ごたえを感じています。看護は継続していくものであり患者様・ご家族様の想いに寄り添い、入院中も退院後も安心して頂けるよう当院の強みである訪問診療・看護ステーションとの連携をとりながら、入院から退院後も看護をつなぎ続け関わっていき続けたいと考えています。

2. 良質な看護の提供は看護師として志し続ける事だと思っています。その為には「安心・安全は」欠かせません。今年も当たり前の事がきちんとでき、安全・安心で、心のこもった暖かい看護が提供できるよう些事徹底をしていきます。

3. 患者様に満足していただく事は職員の満足にもつながります。一昨年より取り組んでいる、新たな「目標管理」で自己の成長・達成感を実感し、仕事への満足からまた患者サービスにも繋げられるよう、今年はより PDCA サイクルを意識し関わっていきたいと考えています。職場環境については WLB として、より私生活も充実できるような配慮と共に、現場意見を救い上げ、働きやすい・長く勤めたい職場をめざしと考えています。

今年も患者様・御家族様・職員が満足できる選ばれる病院をめざし、看護部理念である「自分が受けてみたい心のこもった良質な看護の提供」を志し、職員一同力を合わせて進んでいきたいと思っています。

★3階病棟★

昨年度在宅調整を1番目の目標として掲げ、取り組んで来ましたが、入院時から退院後の生活を見据えて関わることの重要性を認識しました。早期に御家族様やケアマネージャーと情報交換ができるようになって来ましたが、まだまだ個別性を考慮した支援に至っていません。そこで今年度は院内の在宅に関係する部門との連携を強化し、ご入院の段階から患者様と一緒に方向性を打ち出す機会を持てるようにと目標を立てました。

また3階病棟は平成26年10月から、病状の安定した在宅復帰を目的とした患者様にご利用いただく、12床の包括ケア病床を運用しています。在宅調整とも連携していますので、より有効な運営に取り組みたいと考えます。

2番目に「良質な看護の提供」としては、脊椎手術件数が増えています。手術を受けていただく患者様に、手術前に体位変換や安静度を実際に体験していただくオリエンテーションを行い、より安全に不安なく手術を受けていただきたいと思います。

また、病棟では情報交換をしながらどうすれば患者様に個別性のある看護の提供ができるかアセスメントを繰り返しています。チームでのカンファレンスも日々実施していますので、それらを記録にしっかり残すことで、私たちが行った看護の立証と振り返り、患者様が見える記録を目指したいと考えています。

3番目の目標は、WLB推進の取り組みから、患者様・職員に優しい病院・職場環境を目指すために、働き甲斐のある職場環境を整えたいと考えます。昨年から導入した新たな“個人目標管理シート”を活用して1年を通じてなりたい自分を意識して行動に繋げたいです。患者様の療養の場であるベッドサイドの環境調整を行い、安全で過ごしやすい環境を提供できればと考えます。担当看護師としての役割を認識し、常に環境に目を向けることで、かかりつけ病院としての役割を担っていきたく、病棟全体で取り組みたいと思います。

★★透析室看護目標★★

『安心・安全な透析治療・看護の提供』

1. 透析とは体外循環治療となるため、「感染面」「安全面」はとても重要です。今年度は、トラブルシューティングに着目して勉強会を行っていく予定です。トラブルが発生した時を想定して「なぜそうなったのか?」「トラブルが起こってしまった時にどのように対応していくのがベストなのか」ということを、個々が考え速やかに対処できるように、様々なケースを取り入れスタッフ個々の知識・技術を磨き、スタッフレベルの底上げに力を入れていきたいと考えています。
2. 昨年度看護部で見直しされた新しい個人目標シートで、今年度は更に個々のスタッフの目標達成に向けて一緒に取り組んでいき、目標達成時の喜びと自信につなげていきたいです。又個々の成長が患者様へのサービスへとつながり、患者様の喜びが看護への活力となっていけるように、些細な事でも真面目に一生懸命に取り組んでいきます。
3. 透析室の環境改善はここ数年スタッフからの気付きや、患者様から寄せられた言葉をヒントにして毎年環境改善に取り組んできました。またスタッフの意見を看護部から病院側へと要望し、更衣室のソファやテレビの設置、トイレのスロープや手すりの設置、保温冷付きの配膳車など患者様サービス、環境改善へと繋がってきました。一つの意見が形になっていく喜びを私たちは実感しています。そこで今年度はもっと患者様がより快適に過ごしていただけるように、またスタッフがより効率よく業務が行えるために環境調整ミーティングを定期的に取り入れることにしました。患者様サービスで満足を感じて頂くことがスタッフの更なる喜びになるよう導いていきます。

★★訪問看護ステーション目標★★

『地域の一員として活躍できるステーションづくり』

～自ら発信できる看護師を目指して～

看護部同様、STも昨年に引き続いた目標にしています。理由は、昨年度の目標を達成できなかったわけではなく、さらにその水準をあげていこうという思いでの継続です。世の中は、2025年の団塊の世代が75歳となるころに向けて、地域で高齢者を支えるシステムに動いています。そのため、地域との連携を密にし、その一員として役割を果たせることが最大の目標です。例年この言葉で締めくくっていますが・・・

地域みなさまと一緒に自宅で過ごす喜びを感じながら療養できる場所を提供できるよう、そして、これからも、地域みなさまに『安心と安全』をお届けできるよう、スタッフ一同役割を果たせるよう努力していきます。